

コロナ禍における市民活動支援の取組（令和 2 年度）

1 市民活動団体の活動にかかる支援

(1) 【新型コロナウイルス】支援策に関する情報発信

市民活動総合ポータルサイト内に、「【新型コロナウイルス】支援策など関連情報」のページを新設し、国や、大阪府をはじめとする自治体等の支援対策一覧や助成金情報等、NPO法人等市民活動団体が利用できる制度を包括的に情報発信

大阪市市民活動総合ポータルサイト内

「【新型コロナウイルス】支援策など関連情報」ページ

(URL) https://kyodo-portal.city.osaka.jp/emergency_news/



新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの市民活動団体が運営や活動、事業に大きな影響を受けています。市民活動団体を対象とした支援等についてご紹介します。

なお、[みんなのつぶやき（掲示板）](#)におきましても、新型コロナウイルスに関する情報を随時発信していますので、ご確認ください。

1.雇用・事業継続等に関する情報	2.助成情報
3.NPO法人の運営等に関わる情報	4.融資・貸付の情報
5.市民活動を支えたい皆様へ（寄付・寄贈の募集）	6.その他

掲載情報の例

- ・大阪府ホームページ「新型コロナウイルス感染症対策支援情報について」に掲載されている支援策

(URL) http://www.pref.osaka.lg.jp/smart_somu/shien/index.html

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた府民の方や事業者の方を支援するための制度等を案内しているページ。

- ・大阪府が実施している事業「NPO等活動支援による社会課題解決事業」(コロナ禍の社会課題に取り組む、NPO等の非営利法人を支援する事業) など

(2)オンラインによる地域公共人材の派遣

従来の対面による派遣に加えて、参加者間の距離が保てないなどの事情で対面での派遣ができない場合など、地域公共人材の方々の承諾を前提に、新たに「オンラインによる派遣」を可能とした。

大阪市ホームページ

「専門スキルを持った人材による市民活動の支援（大阪市地域公共人材バンク）」

(URL) <https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000268766.html>

2 地域活動協議会の活動にかかる支援

(1)地域活動再開検討ガイドラインの策定（令和2年6月4日 市長会見で発表）

- ・ 緊急事態宣言解除後、地域活動協議会が、活動を再開するにあたって必要となる対策や実施判断の参考としていただくため、「地域活動の再開検討ガイドライン」を策定。各区長が各区の実情に応じて基本的な考え方や参考指針等をカスタマイズして活用するための標準版として作成。
- ・ 区によっては、購入可能物品リストを作成するなど、地域に寄り添った支援を実施。

（参考）

- ・ 大阪市ホームページ 「地域活動の再開検討ガイドライン」を策定しました

(URL) <https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000505469.html>

- ・ 「地域活動の再開検討ガイドライン（対策編）」

地域活動を実施される皆様へ
新型コロナウイルス感染症大防止のための対策

実施する前提

- 【マスクの着用】
活動中もマスクを着用し、着用が困難な場合は、活動前後の移動時や公共施設内での移動時など、人との距離が保てない状況ではマスクを着用してください。
- 【密集・密着・密接の回避】
活動中も、密集・密着・密接を避け、人と人との距離を十分に保ってください。
- 【咳やくしゃみ】
咳やくしゃみをする際は、マスクを着用し、咳やくしゃみの音を抑え、手拭い紙などで口元を覆い、その後、手拭い紙を適切に処分してください。
- 【手洗いの徹底】
活動前後、活動中も頻りに手を洗い、手洗いの徹底をお願いします。
- 【体温の検閲】
活動前、活動中、活動後の検閲をお願いします。
- 【体調不良の報告】
活動前、活動中、活動後の体調不良の報告をお願いします。
- 【活動の中止】
活動中、体調不良の報告があった場合、活動を中止してください。

症状別 活動ごとの対応

- 【発熱】
発熱がある場合は、活動を中止してください。
- 【咳やくしゃみ】
咳やくしゃみをする際は、マスクを着用し、咳やくしゃみの音を抑え、手拭い紙などで口元を覆い、その後、手拭い紙を適切に処分してください。
- 【呼吸器症状】
呼吸器症状がある場合は、活動を中止してください。
- 【その他】
その他、体調不良の報告があった場合は、活動を中止してください。

お問い合わせ先：〇〇区健康課〇〇課（03-00-00） 〇〇区まちづくりセンター（03-00-00）

(2) SNS を活用した、地域活動の取組事例を共有できる仕組みづくり

(令和2年11月4日報道発表)

- ・コロナ禍によって生じた新たな地域課題への対応策等を見出していただくため、with コロナ時代に対応した地域活動の取組事例を、SNS のハッシュタグ検索機能を活用して共有いただく取組をハッシュタグキャンペーンとして一定期間実施。
- ・ハッシュタグをつけて投稿された取組をとりまとめ、SNS を利用しない方にも情報共有ができるよう、事例集を作成(月1回)。
- ・一部の事例については、CATV に情報提供し、番組等で紹介していただいた。

(参考)

- ・報道発表資料 「ええやん地活協！with コロナ大作戦！ハッシュタグキャンペーン」を実施します

(URL) https://www.city.osaka.lg.jp/hodoshi_ryo/shimin/0000517572.html

- ・大阪市市民活動総合ポータルサイト「みんなの活動報告」内
ハッシュタグでつながる！地域活動PR！「ええやん地活協！with コロナ大作戦！」を実施します

(URL) <https://kyodo-portal.city.osaka.jp/report/%e3%83%86%e3%82%b9%e3%83%88/>

- ・広報チラシ



【実績(令和3年2月末時点)】

- ・投稿数：330件以上(令和2年11月～令和3年3月6日)
- ・事例集の発行：3回(令和2年12月、令和3年1月、2月)
- ・メディア取材(CATV)：6区